

単元名 たがいの立場を明確にして、話し合おう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。
 (2) 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
 (3) 互いの立場や意図を明確にしながら、身の回りの問題を解決するために話し合おうとする。

標準的な展開例

05010209_001

【教材名】 よりよい学校生活のために／意見が対立したときには (P. 128～P. 135)

【準備等】 付箋

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 学習の見通しをもち、学習計画を立てる。 ★たがいの立場を明確にして、話し合おう。 ○学校生活を振り返る。 ○学習の進め方を確認する。 2 学校生活の中から議題を決め、自分の考えをもつ。 ○よりよい学校生活のためにしてみたいことや課題を考える。 ○学級で話し合い、してみたいことや課題を一つ決める。 ○選んだ課題を基に、議題を決める。 ○自分の考えをまとめる。 3 話し合いの仕方を知る。 ○話し合いの進行計画を立てる。 ○話し合いのときに気を付けることを知る。 ・意見の伝え方 ・意見のまとめ方 ・質問の仕方 ・意見が対立したときの考え方 4～5 グループで話し合う。 ○グループで話し合い、内容をまとめる。 6 話し合ったことをクラス全体に伝える。 ○話し合った結果を報告する。 ○話し合いの様子について振り返り、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。	・「こうなるといいな」と思うことについて、簡単に意見を出させる。 ・教科書(P. 128)下段で学習の進め方を示し、見通しをもたせる。 ・教科書(P. 129)上段で、してみたいことや課題を考えることが議題を決めることにつながることを確認する。 ・課題と議題の関係について押さえる。 ・教科書(P. 130)を参考に、「現状と問題点」「解決方法」「理由」をまとめさせる。 ・付箋を利用して書かせると、今後の話し合いがしやすい。 ・「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」があることを確認する。 ・二次元コードを読み込み、「考えをもち寄って、話し合う」を視聴してもよい。 ・教科書(P. 131～132, P. 134～135)を読み、気を付けるポイントを押さえる。 ・教科書(P. 132)下段や教科書(P. 248)を参考に付箋や図を使って内容をまとめさせる。 【評】話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】話し合い、内容をまとめる活動を通して考えをまとめたり、広げたりする「思考・判断・表現」を評価する。 ・報告だけではなく、学級で話し合う活動につなげてよい。 ・「話し合いの内容に関して」「話し合いや発言の仕方に関して」などの視点で振り返らせる。 【評】話し合いを振り返る活動を通して、思考に関わる語句の量を増やし、話や文の中で使う「知識・技能」を評価する。 ・教科書(P. 133)「ふりかえろう」で単元の学習を振り返るとともに、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。

【 備 考 】